



merci pot

小型吸引器 メルシーポット S-501

取扱説明書 Ver. 3.0

ご使用の前に

安全上のご注意	2
製品の特長	6
商品の構成	7
本体各部のなまえとはたらき	8

正しい使いかた

ご使用前の準備	10
吸引のしかた	12
吸引がおわったら	18

お手入れと保管について

洗浄・消毒	20
組み立てかたと保管について	25

困ったときに・保証など

故障と点検について	28
仕様について	33
保証規定と保証書	34

この度は、小型吸引器メルシーポットをお買い上げいただきましてありがとうございました。
正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
本書は品質保証書を兼ねています。無償修理の際に必要となりますので、大切に保管してください。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全にご使用いただくために、必ずお守りください。

警告サイン	説 明
 警告	「死亡、または重傷を負う可能性がある内容」を示します。
 注意	「軽傷や物的損害が発生する可能性がある内容」を示します。

図 記 号	説 明
	してはいけないこと（禁止）を示します。
	しなければならないこと（必ず守ること）を示します。

ご使用に当たって

 警告	
- メルシーポット S-501 は鼻汁、痰汁等を吸引する医療用吸引器ですので、必ず医師または医療従事者の指導のもと、使用してください。 - 本器に異常が生じた場合は直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 （万一、故障した場合は、内部機器には触れずお買い上げの販売店にご連絡ください。） - ご購入後、初めてご使用になるときや、長期間ご使用にならなかったときは、使用前に清拭・滅菌または消毒を行ってください。 （本製品は未滅菌で出荷されます。） - 吸引物が吸引ボトルの規定容量（500mL）を超えないようにしてください。 （ポンプ内に吸引物が吸引されると故障の原因になります。）	
- 本器の使用目的以外の目的（採血用など）では絶対に使用しないでください。 - 本体各部に注油しないでください。 - 規定以上の連続運転はしないでください。（15分まで） - 可燃性ガス雰囲気内で使用しないでください。（火災やけがの恐れがあります。） - 絶対に分解・改造を行わないでください。（発火や感電、けがの恐れがあります。） - 本体背面の排気口を塞がないでください。 - 本体および AC アダプターは防水構造ではないため、水やお湯などで丸洗いしたり、水に浸したりしないでください。 （感電、ショート of の恐れがあります。） - 機器と接触する部分に傷や炎症、出血などが見られる場合は、使用しないでください。 - 付属の専用 AC アダプター以外は絶対に使用しないで下さい。発火や故障の原因となります。 - 専用 AC アダプターに取り付けられているフェライトコアは外さないでください。	

⚠ 注意

- 本器は周囲温度 +5 ~ +35℃、相対湿度 30 ~ 75% の環境で使用してください。
(正常に動作せず、症状が悪化する恐れがあります。)
- お子様が使用するときは、必ず保護者の方が付き添ってください。
(誤った使い方により、症状が悪化する恐れがあります。)
- 吸引圧を調節するときは、真空計の目盛りを見ながら徐々に行ってください。
- 部品は水気を十分に切ってから取り付けてください。
(ポンプ内に水などが吸引されると故障の原因になります。)
- ボトルカバーへはフロートセットを必ず取り付けて使用してください。
- 水平で安定した場所で使用してください。



- 機器を倒さないでください。
(ポンプ内に吸引物が入り、故障の原因となります。)
- 本体のすき間から内部に指や物を入れないでください。
(感電や故障、けがの原因になります。)
- 本体を毛布やタオル等で包んだ状態で使用しないでください。
(発熱や感電、故障の原因になります。)
- 吸引ボトル内に陰圧が残っている状態で、電源スイッチを「ON」にしないでください。
(ヒューズが切れる恐れがあります。)
- 本体を落としたり、強い衝撃を加えたりしないでください。
(破損し、感電や故障する恐れがあります。)
- 吸引ボトルを落としたり、ぶつけたりしないでください。
- 吸引ボトルに割れ、キズ、カケがあるものは使用しないでください。
- 本製品の付属品および当社純正の別売品以外は使用しないでください。
(正常に動作せず、症状が悪化する恐れがあります。)



電源について

⚠ 警告

- 必ず専用の AC アダプターを使用し、交流 100V (50-60Hz) で 15A 以上の容量があるコンセントに接続してください。
(異なる電圧で使用すると、感電や発煙、火災の原因になります。)
- 濡れた手で電源コードや電源プラグを抜き差ししたり、触ったりしないでください。
(感電によるケガをする恐れがあります。)



⚠ 注意

- コンセントは単独で使用してください。
(火災や漏電の原因になります。)
- 電源プラグは、根元までしっかり差し込んでください。
(感電やショート、発火の原因になります。)
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜いてください。
(電源コードが破損して、感電や発火の原因になります。)
- 電源プラグやコンセントにほこりを溜めないように、定期的に清掃してください。
(コンセントが熱を持ち、ほこりに引火することがあります。)



⚠ 注意

- 電源コードや電源プラグが痛んでいたり、コンセントの差し込み具合が緩いときは使用しないでください。
(感電やショート、発火の原因になります。)
- 電源コードを傷つけたり、重いものを載せたり、力を加えたりしないでください。
(発火、感電の恐れがあります。)



お手入れと保管について

⚠ 警告

- 本体及び付属品は清潔な場所で保管してください。
(雑菌が繁殖し、感染の原因になります。)
- 部品の取り付け・取り外し、お手入れのときは、電源スイッチを「OFF」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
(感電や誤動作によるけがの原因になります。)
- 長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
(プラグにほこりが付着し、発火・火災の原因になります。)



- 子供の手が届くところには置かないでください。
(小さな部品を飲み込む原因になります。万一、飲み込んだ場合には直ちに医師にご相談下さい。)



⚠ 注意

- ご不要となった本体や付属品、別売品を廃棄する場合は、お住まいの自治体のルールに従って廃棄してください。
(環境汚染の原因となることがあります。)
- 洗浄時の吸引においても、吸引ボトル内に吸引物がいっぱいにならないよう常に監視してください。
- 吸引物をポンプ側に吸い込んだ場合は配管内に溜まり故障の原因となるため、必ず製造販売元または修理業者による点検を受けてください。



- 本器をベンジンやシンナーなど揮発性の薬品で拭かないでください。
(故障の原因になります。)
- 次の場所には設置及び保管しないでください。
 - ー化学薬品の保管場所、ガスの発生する場所(本製品は防爆構造になっておりません。)
 - ー水のかかる場所
 - ーほこり、塩分、硫黄分、湿気などの多い場所(火災や感電の恐れがあります。)
 - ー傾斜、振動、衝撃のある不安定な場所(転倒や落下などで破損し、故障する恐れがあります。)
 - ー直接日光の当たる場所(日光が当たっている部分が高温になり、故障する恐れがあります。)



保守点検について

⚠ 注意	
- 使用前に必ず本体が正常かつ安全に動作することを確認してください。 - 日常点検及び、保守点検（ユーザー点検）を必ず行ってください。 1 年に 1 度は製造販売元または修理業者による年次点検、整備を必ず行ってください。（性能や安全性を維持できなくなります。） - 定期的な清掃や点検をして下さい。本器を永く安全にお使いいただくため、また突然の故障等を防ぐためにも、必ず本書に従った日常点検、保守点検（ユーザー点検）及び定期点検を行ってください。 - 長期間使用しなかった場合は、点検に出すなど作動上の安全を確認してから使用してください。 - 吸引器は、吸引配管内やポンプ内にミスト状の吸引物を吸い続けていますので、使用頻度によって吸引圧力や吸引流量に影響がでてきます。必ず、製造販売元または修理業者による定期点検をお受けください。（有料）	⚠

ご使用の前に

消毒・滅菌処理、消毒薬使用について

⚠ 警告	
部品を洗浄・滅菌または消毒した後は、十分に水洗いを行い、よく乾燥させてから清潔な場所に保管してください。（乾燥が十分でないと雑菌が繁殖し、感染の原因になります。）	⚠
エチレンオキシドガス (EOG) 滅菌はしないでください。（残留残存したエチレンオキシドガスにより、人体に悪影響を及ぼす恐れがあります。）	⊘

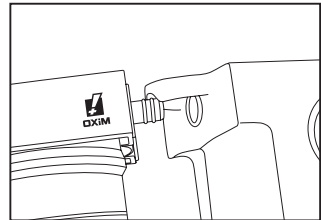
⚠ 注意	
- 滅菌または消毒の前に必ず洗浄を行ってください。（汚れ、付着物等がついたままでは、滅菌または消毒の効果が低くなります。） - 消毒薬の希釈濃度及び浸漬時間は、各種消毒薬の添付文書に従い用法、用量を守り正しくお使いください。（高濃度、もしくは必要以上に長時間の浸漬消毒は部品を劣化させる原因になります。） - 消毒薬に直接接触したり、気化したガスを吸わないように注意してください。（手荒れを起こしたり、有毒なガスを吸い込んだりする場合があります。） - 煮沸消毒するときは、空焚きに注意してください。（火災を起こす原因になります。）	⚠
- 消毒薬は、他の消毒剤や洗剤と混ぜないでください。（消毒剤の効力が損なわれたり、危険な成分が生じることがあります。） - 煮沸消毒に電子レンジは用いないでください。（火災を起こす原因になります。） - クレゾール系、両性界面活性剤系、アルコール系は樹脂にヒビ割れ等を生じる可能性がありますので使用しないでください。	⊘

製品の特長

- 本体と一体化するボトルカバーを採用し、美しいデザインを実現しました。
- 接続がシンプルで、持ち運びのしやすい軽量モデル。女性にやさしい仕様です。
- 鼻水吸引・たん吸引に必要な十分なパワーで、安心してご使用いただけます。

吸引ボトルの取り外し

ボトルカバーをスライドさせることで、吸引ボトルを本体から簡単に取り外すことができます。

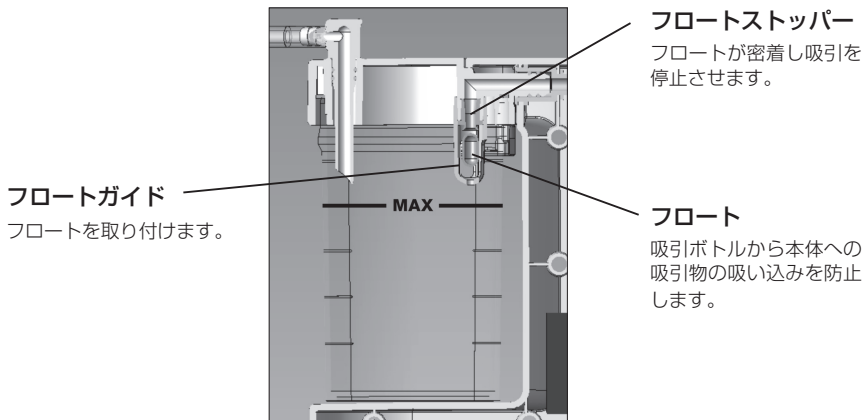


オーバーフロー防止装置模式図

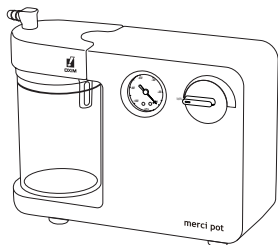
本器は吸引ボトルのオーバーフローを防止するためのフロートを備えております。吸引ボトル内が吸引物でいっぱいになると、フロートがフロートストッパーに密着し、吸引が停止します。

※フロートが機能しないことがありますので、吸引物が吸引ボトルの MAX ライン（赤線）を超えないように常に監視してください。

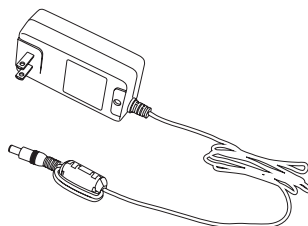
※フロート部分に汚れ等が付着した場合はすみやかに洗浄してください。



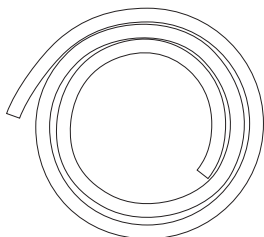
商品の構成



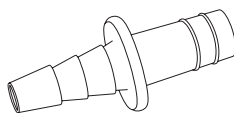
1. 本体



2. 専用ACアダプター（フェライトコア付き）



3. 吸引チューブ

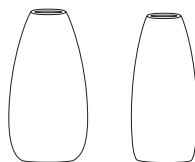


4. カテーテルコネクター



5. ヒューズ（予備）

※ 125V、3A、B種溶断型、 $\phi 5.2 \times 20\text{mm}$



6. シリコンノズル2個（大・小）

7. 取扱説明書兼品質保証書（本書）

8. 添付文書

本体各部のなまえとはたらき

吸引チューブ接続口

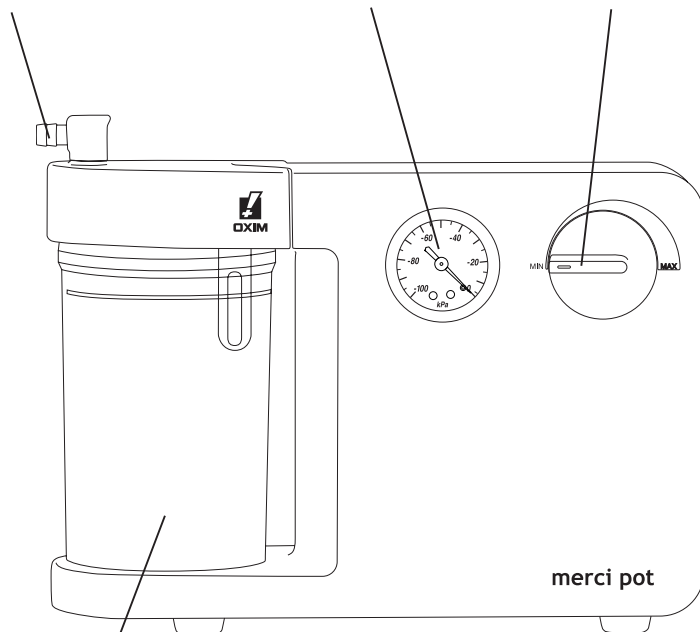
吸引チューブを差し込みます。

真空計

吸引圧を表示します。

吸引圧調節ツマミ

吸引圧を調節します。



本体正面

吸引ボトル

吸引物を蓄積します。

MAX ライン（赤線）は吸引ボトルの
限度容量を示しています。

電源スイッチ

電源の「ON」「OFF」を切り替えます。

排気口

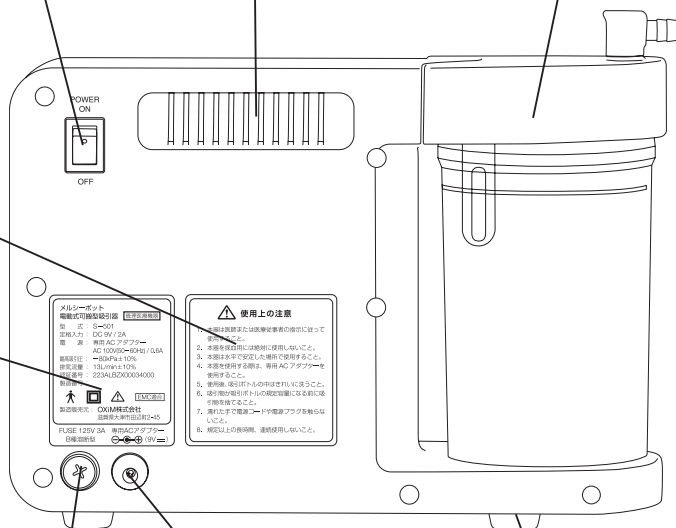
本体の外へ空気を排出します。

ボトルカバー

スライドさせることにより吸引ボトルを取り外すことができます。

注意書き

定格銘板



ヒューズホルダー

ヒューズを差し込んで本体に装着します。
内部のヒューズは定格異常の大電流が発生した場合に、事故を防止します。

DC ジャック

専用 AC アダプターのピンプラグを差し込みます。

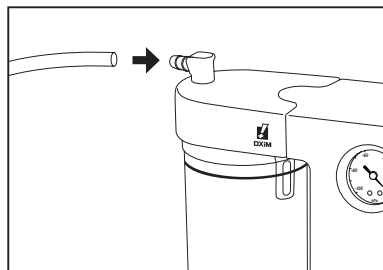
ゴム足

ポンプの振動音を吸収して軽減します。

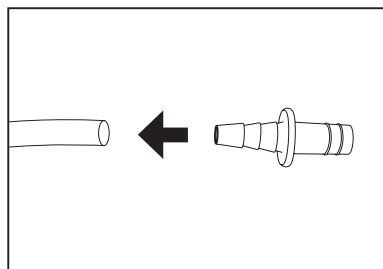
ご使用前の準備

本体組み立て方

- 1** 本体を安定した場所に置き、吸引チューブを吸引チューブ接続口に接続します。

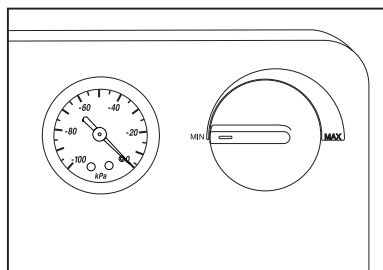


- 2** 本体に接続した吸引チューブの反対側に、カテーテルコネクタを接続します。

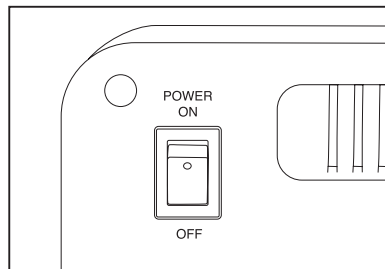


電源の準備

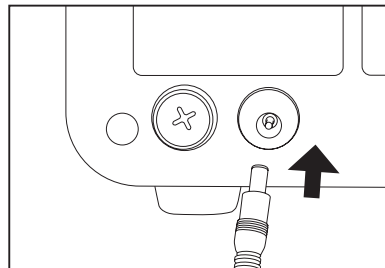
- 1** 吸引圧調節ツマミが「MIN」になっていることを確認します。



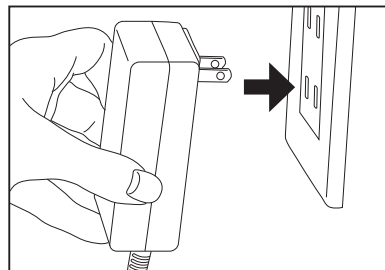
- 2** 電源スイッチが「OFF」になっていることを確認します。



- 3** 専用 AC アダプターのピンプラグを本体の DC ジャックに接続します。



- 4** 電源プラグをコンセントに差し込みます。



正しい使いかた

⚠ 警告

- 電源は交流 100V (50 H z ~ 60 H z) を使用して下さい。異なる電圧で使用すると、感電や発煙、火災の原因となる恐れがあります。
- 付属の専用 AC アダプター以外は絶対に使用しないで下さい。発火や故障の原因となります。
- ぬれた手で電源プラグを抜きさししないでください。



⚠ 注意

- 設定した吸引圧を変更する場合は、真空計の目盛りを見ながら徐々に調節してください。
- 吸引ボトル内に陰圧が残っている状態で、電源スイッチを「ON」にしないでください。真空計の針が「0」を指している事を確認してください。



吸引のしかた

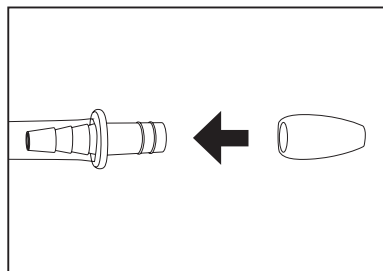
鼻水吸引のしかた

※吸引中は感染防止のために、使い捨ての手袋などを装着することをおすすめします。

※本取扱説明書では、操作方法の説明を見やすくするために手袋は装着していません。

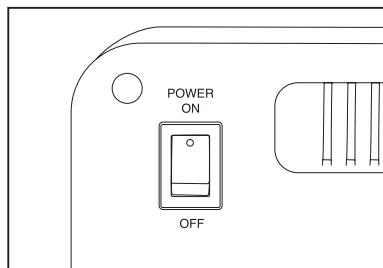
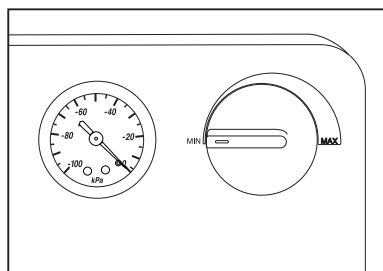
1

カテーテルコネクターにシリコンノズルを接続します。



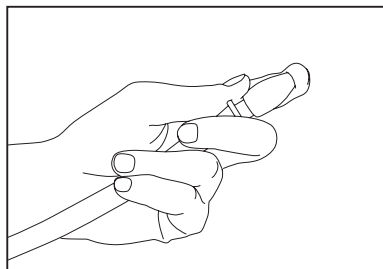
2

吸引圧調節ツマミが「MIN」になっていることを確認し、本体うしろにある電源スイッチを「ON」にします。



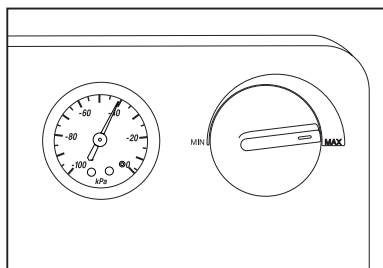
3

シリコンノズルの先端を指で押さえて空気の流入を止めます。

**4**

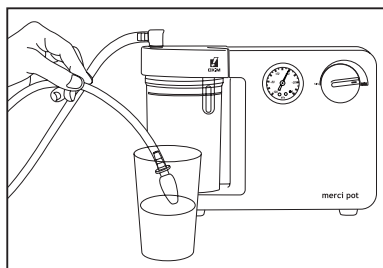
真空計の目盛りを見ながら、吸引圧調節ツマミを回し圧力を調整します。

※小児に対して行う時は、様子を観察しながら少しずつ吸引圧をあげるようにし、痛がったり嫌がる時は、一旦吸引を中止して異常がないか確認してください。

**5**

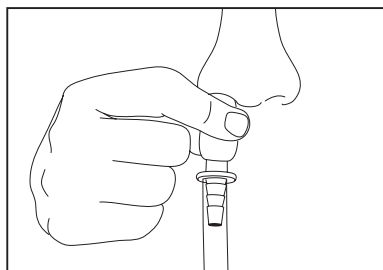
シリコンノズルの先端から指を離し、清潔な常水もしくは精製水などにつけて吸引チューブ内に水を通します。

※シリコンノズルの先端から指を離すと吸引圧が下がります。これは空気が流入することによる自然な現象で、機器の異常や故障ではありません。
※吸引チューブの内部に吸引物が付着するのを防ぎ、吸引したものがスムーズに吸引ボトルに送られるようにするためです。

**6**

シリコンノズルを鼻腔に挿入し、鼻水を吸引します。

※シリコンノズルで鼻の穴をふさぐようにしてお使いください。
※3秒～5秒程度の短時間の吸引を何回かに分けて行い、6秒以上続けて吸引しないようにしてください。

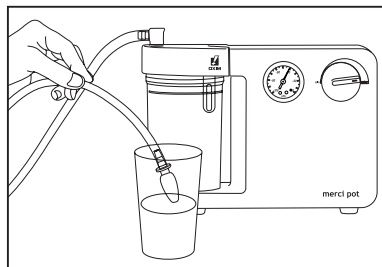


※吸引物が吸引ボトルの規定容量（500mL）を超えないようにしてください。
（ポンプ内に吸引物が吸引されると故障の原因になります。）
※規定以上の連続運転はしないでください。（15分まで）

7

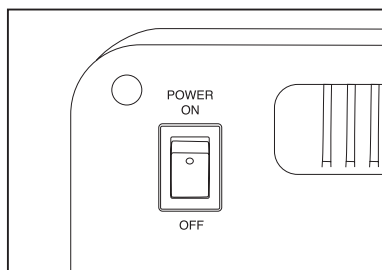
吸引終了後はシリコンノズルを清潔な常水もしくは精製水などにつけ、吸引チューブ内に水を通します。

※吸引チューブの内部に留まった吸引物を吸引ボトルに移動させ、きれいにするためです。



8

電源スイッチを「OFF」にし、ポンプを停止します。



⚠ 警告

- 本器の操作については、医師または熟練者の指導に必ず従ってください。
- ご購入後、初めてお使いになるときや、長時間で使用にならなかったときは使用前に清拭・滅菌または消毒を行ってください。



⚠ 注意

- 部品は、水気を十分に切ってから取り付けてください。
(ポンプ内に水などが吸引されると故障の原因になります。)
- ※特にボトルカバー部分に水分が残っていないか確認してください。



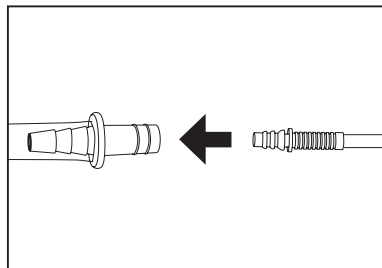
たん吸引のしかた

※吸引中は感染防止のために、使い捨ての手袋などを装着することをおすすめします。
※本取扱説明書では、操作方法の説明を見やすくするために手袋は装着していません。

1

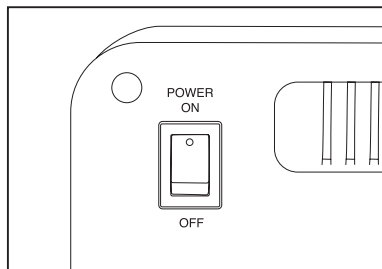
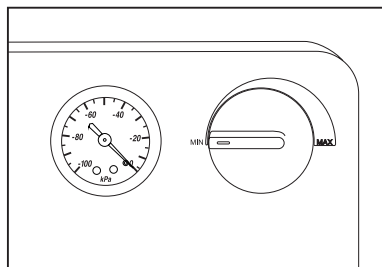
カテーテルコネクタにカテーテルを接続します。

※カテーテルは本体に付属しておりません。別売りになります。



2

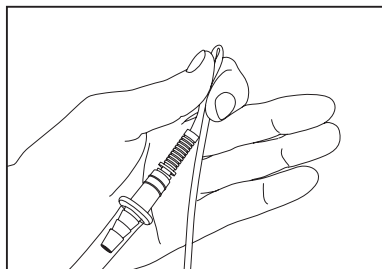
吸引圧調節ツマミが「MIN」になっていることを確認し、本体うしろにある電源スイッチを「ON」にします。



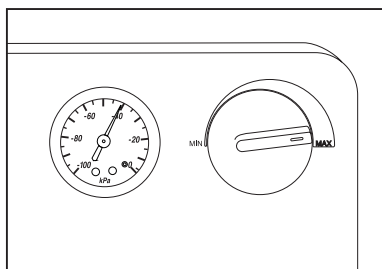
正しい使いかた

3

カテーテルの根元を手で折り曲げ、空気の流入を止めます。

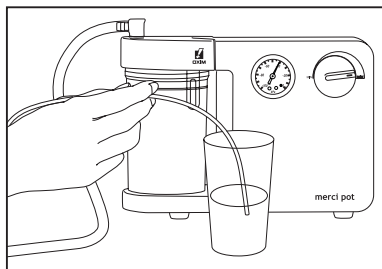
**4**

真空計の目盛りを見ながら、吸引圧調節ツマミを回し圧力を調整します。(吸引圧がわからない場合は、かかりつけのお医者様にご相談ください。)

**5**

カテーテルを折り曲げた手を離し、カテーテルの先端を清潔な常水もしくは精製水などにつけ吸引チューブ内に水を通します。

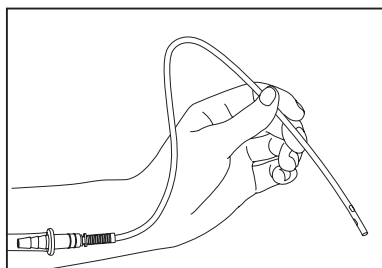
※カテーテルを折り曲げた手を離すと吸引圧が下がります。これは空気が流入することによる自然な現象で、機器の異常や故障ではありません。
※吸引チューブの内部に吸引物が付着するのを防ぎ、吸引したものがスムーズに吸引ボトルに送られるようにするためです。

**6**

再度、カテーテルの根元を折り曲げて、穴の開いている先端部分を口腔、咽喉、鼻腔などからカテーテルを挿入します。

吸引したい箇所に先端が届いたら、カテーテルを折り曲げている手を離して吸引します。

※1回の吸引は、10秒～15秒以内を目安に行ってください。



※吸引物が吸引ボトルの規定容量(500mL)を超えないようにしてください。

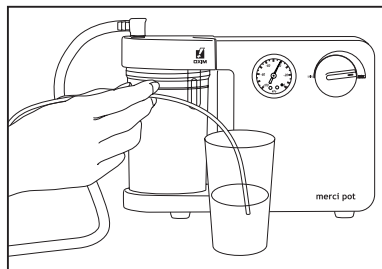
(ポンプ内に吸引物が吸引されると故障の原因になります。)

※規定以上の連続運転はしないでください。(15分まで)

7

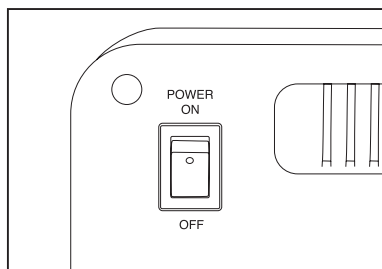
吸引終了後は、カテーテルの先端を清潔な常水もしくは精製水などにつけ、吸引チューブ内に水を通します。

※常水や精製水などを吸引するのは、吸引チューブの内部に留まった吸引物を吸引ボトルに移動させてきれいにするためです。



8

電源スイッチを「OFF」にし、ポンプを停止します。



正しい使いかた

⚠ 警告

- 本器の操作については、医師または熟練者の指導に必ず従ってください。
- ご購入後、初めてお使いになるときや、長時間で使用にならなかったときは使用前に清拭・滅菌または消毒を行ってください。



⚠ 注意

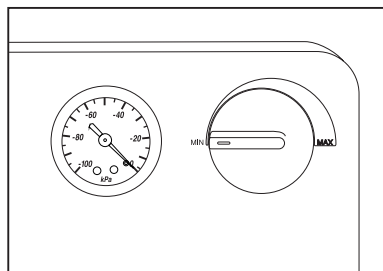
- 部品は、水気を十分に切ってから取り付けてください。
(ポンプ内に水などが吸引されると故障の原因になります。)
- ※特にボトルカバー部分に水分が残っていないか確認してください。



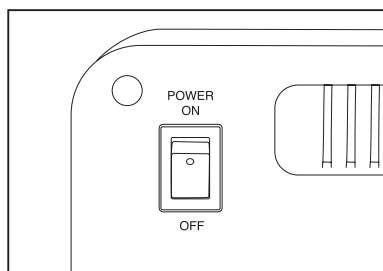
吸引がおわったら

電源の取り外しかた

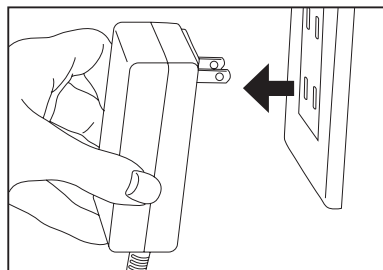
- 1** 吸引圧調節ツマミが「MIN」になっていることを確認します。



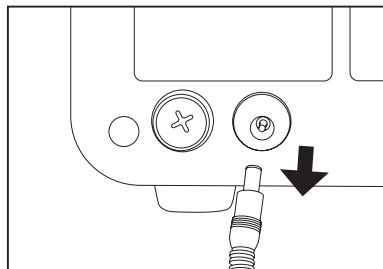
- 2** 電源スイッチが「OFF」になっていることを確認します。



- 3** 電源プラグをコンセントから抜きます。



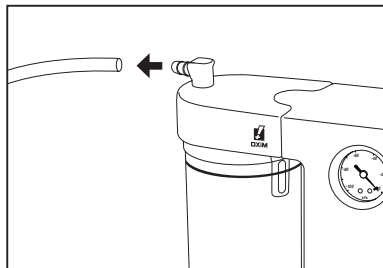
- 4** 専用 AC アダプターのピンプラグを本体の DC ジャックから抜きます。



吸引ボトルの取り外しかた

1

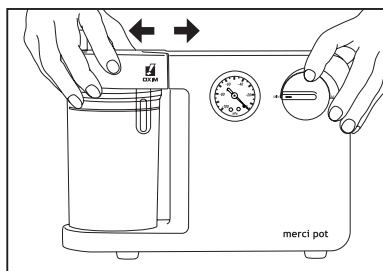
吸引チューブ接続口から吸引チューブを外します。



2

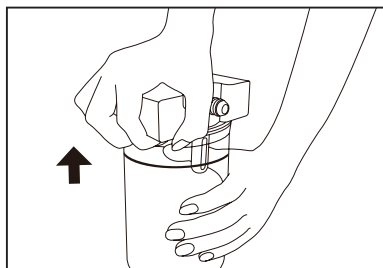
ボトルカバーをスライドして本体から取り外します。

※吸引物が飛び散る恐れがありますので、静かに取り外してください。



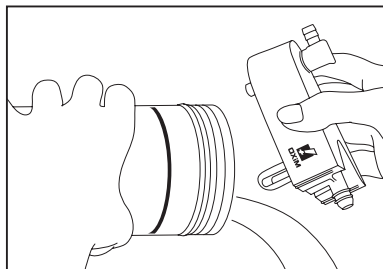
3

吸引ボトルを片手でしっかりと押さえ、もう片方の手でボトルカバーの角に指をかけ引き上げるようにして外します。左右交互に引き上げてください。



4

吸引ボトルに溜まった吸引物を捨てます。



正しい使いかた

警告

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししたり触ったりしないでください。



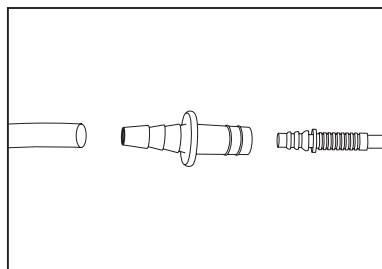
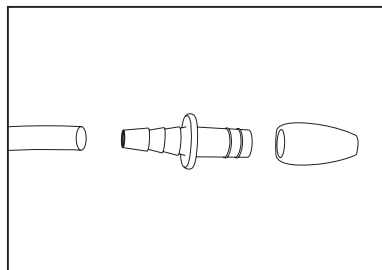
洗浄・消毒

洗浄前の準備

1

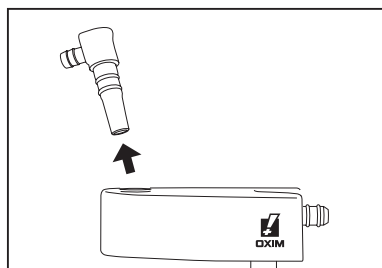
本体から外した吸引チューブからカテーテルコネクターとシリコンノズルまたは、カテーテルを外します。

※カテーテルは、お住まいの自治体のルールに従って廃棄します。



2

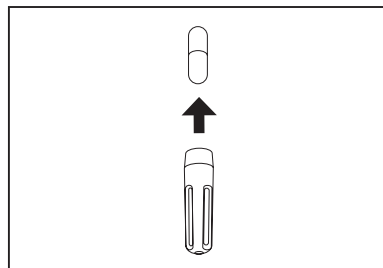
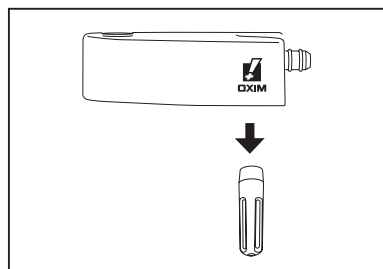
ボトルカバーから、吸引チューブ接続口を外します。



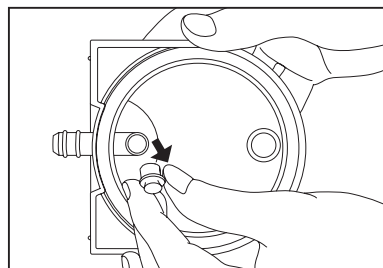
3

ボトルカバーからフロートガイドを外し、フロートを取り出しておきます。

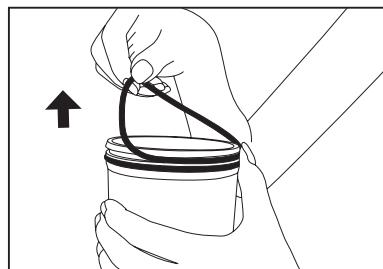
※フロートは、本体への吸い込みを防止するために必要です。なくさないようご注意ください。

**4**

ボトルカバーに装着されているフロートストッパーを外します。

**5**

吸引ボトルに装着されている、吸引ボトル用パッキンを外します。



お手入れと保管について

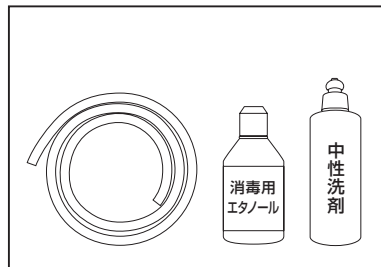
洗浄と消毒のしかた

吸引チューブ内部の洗浄と消毒

中性洗剤を薄めた水溶液に浸しながら吸引チューブ内部にも水溶液を通して洗浄し、消毒用エタノールで消毒します。消毒後、よく乾かします。

※吸引後、電源を切らずにそのまま中性洗剤を薄めた水溶液を吸引してチューブ内を洗浄することも可能です。吸引物の廃棄などは、その後に行いますが吸引チューブ内の洗浄が簡単にできておすすめです。

※注意！吸引ボットの限度容量 (500mL) を超えないようにしてください。

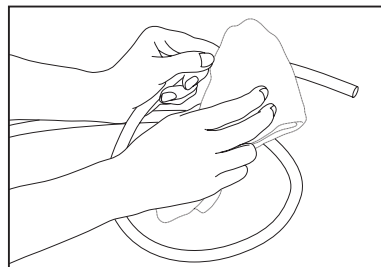


吸引チューブ外部の洗浄と消毒

中性洗剤の水溶液を用いて、柔らかいスポンジなどを使い洗浄します。

※中性洗剤を薄めた水溶液に浸すと、チューブの内部と外部が一緒に洗浄できます。

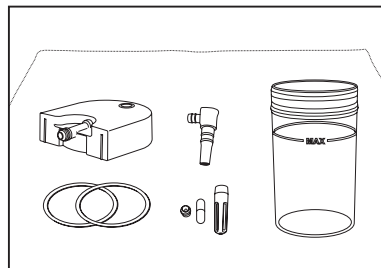
消毒は、酒精綿（消毒用エタノールを含ませた脱脂綿）で拭きます。



ボトルカバー、フロートガイド、フロート、フロートストッパー、吸引ボトル用パッキン、吸引チューブ接続口、吸引ボトルの洗浄と消毒

中性洗剤を薄めた水溶液に浸して洗浄した上で消毒液などに浸し、清潔な布などの上で乾かします。

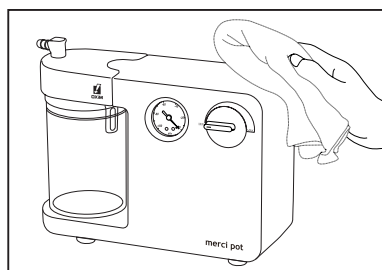
※洗浄する際は、必ず柔らかい布やスポンジなどを用いてください。固いものを使用すると、キズなどの原因になります。



本体の洗浄と消毒

水か消毒用アルコールを湿らせて、軽くしぼった柔らかい布で拭き洗浄します。

汚れがひどい場合は、水で湿らせた布に中性洗剤の水溶液を軽く付けて拭き、清潔でよく乾いた布などで拭き取ります。



⚠ 警告

- 本体や AC アダプターは防水構造ではありません。水やお湯などで丸洗いしたり、水に浸したりしないでください。
- お手入れや、部品の取り付け・取り外しのときは、電源スイッチを「OFF」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。感電や誤動作によるけがの原因になります。
- 洗浄・滅菌または消毒した部品は、十分に水洗いを行い、すみやかに乾燥させた上、必ず清潔な場所に保管してください。



⚠ 注意

- 本体をベンジンやシンナーなど揮発性の薬品で拭かないでください。



お手入れと保管について

消毒についてのご注意

煮沸消毒

※煮沸消毒できる部品：シリコンノズル、吸引チューブ、吸引ボトル用パッキン

1. 煮沸消毒できる部品を容器（厚手の鍋など）に入れます。
2. 容器の中の部品が完全につかるまで水を入れて沸騰させ、そのまま 15 分間煮沸させます。
3. 部品を取り出しすみやかに乾燥させます。

⚠ 注意

・ 煮沸消毒するときには、空焚きに注意してください。



・ 煮沸消毒に電子レンジは用いないでください。



薬液消毒

※消毒の前に必ず洗浄を行ってください。

※消毒薬によって使用できる商品の材質および、消毒の対象となる菌が異なります。「消毒対応一覧表（p.27）」を参考に、各材質にあった消毒薬をご使用ください。

※各種消毒薬の取り扱いについては、各種消毒薬付属の添付文書及び取扱説明書または、各購入店もしくは、各メーカーへお問い合わせください。

1. 部品全体が十分に浸漬できる深めの容器で行います。
（容器はフタのできる遮光性が高いものを推奨します）
2. 管状の部品は空気が残らないように消毒液を通して全体を浸します。
3. 消毒薬が残らないように水で十分にすすぎます。
※次亜塩素酸ナトリウムや塩化ベンザルコニウムなどの水溶液は腐食性が強いので、必ず水洗いを行い、水溶液を洗い流します。
※気化した消毒薬を吸い込むことにより、内部機器を腐食させる恐れがありますのでご注意ください。
4. 直射日光を避け、陰干しで十分に乾かします。

⚠ 警告

・ 洗浄・滅菌または消毒した部品は、十分に水洗いを行い、すみやかに乾燥させた上、必ず清潔な場所に保管してください。



⚠ 注意

・ 滅菌または消毒の前に必ず洗浄を行ってください。

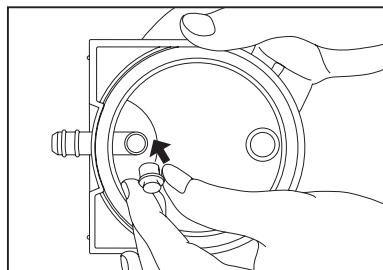


組み立てかたと保管について

※部品の組み立てを行い本体に取り付けた上で保管してください。

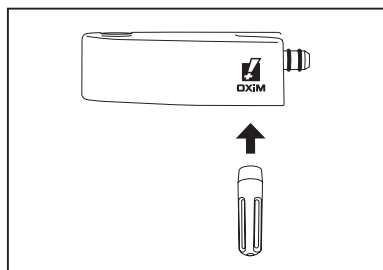
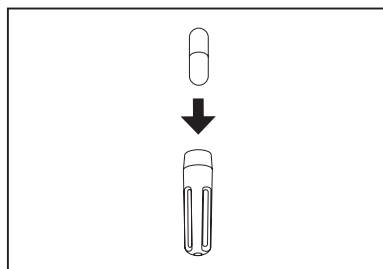
1

ボトルカバーにフロートストッパーを取り付けます。



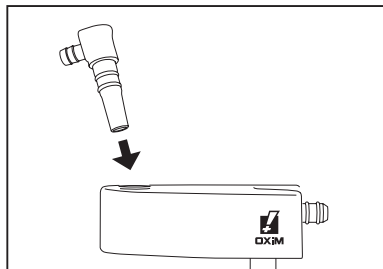
2

フロートガイドにフロートをセットし、ボトルカバーに取り付けます。



3

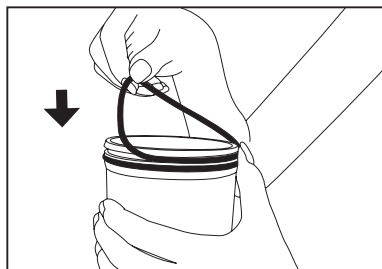
ボトルカバーに吸引チューブ接続口を接続します。



お手入れと保管について

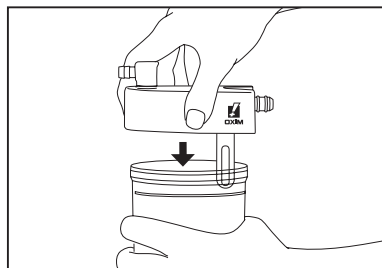
4

吸引ボトルに吸引ボトル用パッキンを取り付けます。



5

ボトルカバーに吸引ボトルを取り付けます。

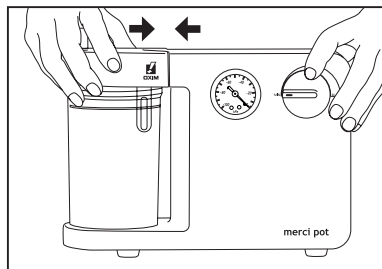


6

本体を安定した場所に置き片手で押さえます。

ボトルカバーをもう片方の手で持ちスライドさせて本体に取り付けます。

※角度をつけて取り付けると、取り付けの部品が破損することがありますのでご注意ください。



7

清潔な場所に保管します。

警告

- 部品は水気を十分に切ってから取り付けてください。
- 不安定な場所や、子供の手が届くところには置かないでください。



注意

- 次の場所には設置及び保管しないでください。
 - －化学薬品の保管場所、ガスの発生する場所
 - －水のかかる場所
 - －ほこり、塩分、硫黄分、湿気などの多い場所
 - －傾斜、振動、衝撃のある不安定な場所
 - －直接日光の当たる場所



消毒対応一覧表

部 品 名	材 質	消毒方法		
		煮 沸	次亜塩素酸ナトリウム (ミルトンなど)	エタノール (消毒用エタノールなど)
シリコンノズル	シリコーン	○	○	○
カテテルコネクタ	PP	×	○	○
吸引チューブ	シリコーン	○	○	○
吸引チューブ接続口	ABS	×	○	○
ボトルカバー	ABS	×	○	○
吸引ボトル	PS	×	○	○
吸引ボトル用パッキン	シリコーン	○	○	○
フロートストッパー	天然ゴム	○	○	○
フロート	ABS	×	○	○
フロートガイド	ABS	×	○	○

お手入れと保管について

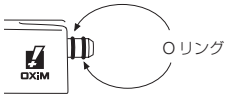
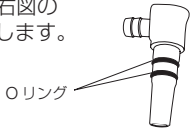
故障と点検について

故障かなと思ったら（修理を依頼される前にお読みください）

動作チェックリスト

現 象	原 因	対 策
ポンプが作動しない	電源プラグが抜けていませんか。	専用 A C アダプターを正しく差し込んでください。
	専用 A C アダプターのコードが断線していませんか。	専用 A C アダプターを交換してください。
	指定の専用 A C アダプターを使用していますか。	指定の専用アダプター以外は絶対に使用しないでください。
	コンセントに電気がきていますか。	電気のきているコンセントを使用してください。
	ヒューズがきれていませんか。	ヒューズを交換してください。
	電源スイッチを正しく入れていますか。	電源スイッチを入れてください。
	製品の稼働時間は 1400 時間を越えていませんか。	使用環境によって大きく異なりますが、ポンプのモーターの寿命は約 1400 時間です。お買い上げの販売店にご連絡ください。
	上記以外の原因	本体内部での異状が考えられます。お買い上げの販売店にご連絡ください。
ポンプは作動するが 吸引しない または 吸引力が弱い	ポンプの作動不良またはリーク (空気漏れ)	吸引ボトルを外し、本体の入り口部を塞いだ状態で電源スイッチを「ON」にします。吸引圧調節ツマミを「MAX」にして、真空計の針が -80kPa 程度を示せばポンプには異常はありません。 吸引ボトルでのリーク（空気漏れ）が考えられますので、次のリークチェックを行ってください。

リークチェック（空気漏れ検査）リスト

チェック箇所	チェック項目	処 置
吸引ボトルと ボトルカバーの 接続部	吸引ボトルがボトルカバーに曲 がって取り付けられていませんか。	吸引ボトル用パッキンを正しく取 り付ける。汚れている場合は洗浄 してください。
ボトルカバーと 本体の接続部	ボトルカバーが本体に曲がって取 り付けられていませんか。	ボトルカバーを水平にスライドさ せて正しく本体に取り付けてくだ さい。
ボトルカバー	ボトルカバーのＯリングが正しく 取り付けられていますか。 Ｏリングに亀裂など入っています か。	ボトルカバーのＯリングを正しく 取り付け。亀裂がある場合はＯ リングを新しいものと交換してく ださい。 Ｏリングは下図のように装着し ます。 
吸引チューブ接続口	吸引チューブ接続口のＯリングが 正しく取り付けられていますか。 Ｏリングに亀裂など入っています か。	吸引チューブ接続口のＯリングを 正しく取り付け。亀裂がある場 合はＯリングを新しいものと交 換してください。 Ｏリングは右図の ように装着します。 
吸引ボトルと ボトルカバー	ボトルカバーや吸引ボトルなどに 亀裂が入っていませんか。	亀裂など破損している部分を交換 してください。
上記以外	上記以外	お買い上げの販売店にご連絡くだ さい。

⚠ 警告

- 絶対に分解・改造を行わないで下さい。発火や感電、けがの恐れがあります。



⚠ 注意

- ボトルカバーへはフロートセットを必ず取付けて使用してください。



困ったときに・保証など

日常点検について

日常点検チェックリスト

点検項目	点検内容	処置方法
専用ACアダプター	専用ACアダプター本体、コード、プラグに変形や損傷、断線などはありませんか。	断線など破損している場合は、交換してください。
フロートセット	フロートが円滑に動いていますか。	汚れがある場合は分解洗浄してください。
ボトルカバー	フロートセットが正しく取り付けられていますか。	正しく取り付けてください。汚れがある場合は洗浄してください。紛失した場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
吸引ボトル	ヒビ割れ、傷などはありませんか。吸引ボトル用パッキンが正しく取り付けられていますか。	破損している場合は、交換してください。
吸引チューブ接続口	Oリングが正しく取り付けられていますか。	汚れがある場合は洗浄してください。紛失した場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
真空計	停止状態において、針はゼロ付近を指していますか。	動作異常がある場合は、真空計の故障が考えられます。お買い上げの販売店にご連絡ください。
電源スイッチ	電源スイッチの「ON」「OFF」動作に異常はありませんか。	動作異常がある場合は、電源の故障が考えられます。お買い上げの販売店にご連絡ください。
ポンプ	動作音に異常はありませんか。	動作異常がある場合は、ポンプの故障が考えられます。お買い上げの販売店にご連絡ください。

保守（ユーザー）点検チェックリスト

点検項目	点検内容	処置方法
ボトルカバー 吸引ボトル用パッキン 吸引チューブ接続口 フロートセット Oリング	ヒビ割れ、傷、劣化などはありませんか。	破損している場合は、交換してください。

点検項目	点検内容	処置方法
吸引チューブ	ヒビ割れ、傷、劣化などがありますか。	汚れがある場合は、洗浄してください。 破損している場合は、交換してください。
真空計	動作状態において、吸引圧力の強弱に伴い、針が円滑に動いていますか。	動作異常がある場合は、真空計の故障が考えられます。お買い上げの販売店にご連絡ください。
吸引圧調節ツマミ	動作状態において、吸引チューブを折り曲げ、吸引圧調節ツマミによる圧力調節が正しく行えますか。	動作異常がある場合は、吸引圧調節器などの故障が考えられます。お買い上げの販売店にご連絡ください。

⚠ 警告

- ・絶対に分解・改造を行わないで下さい。発火や感電、けがの恐れがあります。



メンテナンス

ヒューズの交換方法

1. 電源スイッチが OFF になっていることを確認します。
 2. 専用 AC アダプターのピンプラグを本体の DC ジャックから抜きます。
 3. 電源プラグをコンセントから抜きます。
 4. ヒューズホルダーのつまみをプラスドライバーでまわしヒューズを取り出します。
 5. ふたに付いているヒューズを新しい物と交換し、取り付けます。
- ※ヒューズは必ず当社指定品（125V、3A、B 種溶断型、 ϕ 5.2 × 20mm）を使用してください。
- ※交換後、再度切れる場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

⚠ 警告

- ・部品の取り付け・取り外し、お手入れのときは、電源スイッチを「OFF」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。（感電や誤動作によるけがの原因になります。）



⚠ 注意

- ・ご不要となった本体や付属品、別売品を廃棄する場合は、お住まいの市区町村の指導に従ってください。（環境汚染の原因となることがあります。）



記号について

記号について

記 号	名 称	説 明
	クラスⅡ機器	クラスⅡ機器とは、電撃に対する保護を基礎絶縁だけに依存せず、二重絶縁又は強化絶縁のような追加保護措置が講じられた機器です。
	交流	専用 A C アダプターは交流 100V (50 - 60Hz) の商用電源へ接続してください。
	直流	本製品は直流 9 V 駆動です。
	直流コネクター極性	直流プラグまたはジャックの極性です。
	無段階調節	無段階に増減できる調節ができます。
	B 形装着部	電撃に対する保護の程度が、B 形装着部であることを示しています。JIS T 0601-1 規格に規定される要求事項に適合しています。
	注記、警告 付属文書参照	操作前に関連する付属文書を参照する必要があることを示しています。 本書（取扱説明書）および添付文書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
	EMC 適合	本製品は EMC 規格「JIS T 0601-1-2:2002」に適合しています。ただし、他の医療機器、電子機器との併用において相互に影響を生じる場合があります。本書（取扱説明書）および添付文書にしたがって正しい設置、取り扱いをしてください。

仕様について

仕 様

販 売 名	メルシーボット
型 式	S-501
認 証 番 号	223ALBZX00034000
類 別	機械器具 32 医療用吸引器
一 般 的 名 称	電動式可搬型吸引器
医 療 機 器 分 類	管理医療機器
電撃に対する保護の形式	クラス II 機器
電撃に対する保護の程度	B 型装着部
最大吸引圧力	-80kPa ± 10%
排 気 流 量	13L/min ± 10%
吸引ボトル容量	500mL ± 10%
電源(専用 AC アダプター)	入力：交流 100V(50 - 60Hz)/0.6A、出力：直流 9V/2.5A
定 格 時 間	15 分
ヒューズ定格	125V、3A、B 種溶断型
使用環境温湿度	+5℃～+35℃、30% RH ～ 75% RH (ただし結露なきこと)
保管環境温湿度	-10℃～+60℃、10% RH ～ 75% RH (ただし結露なきこと)
気 圧	70kPa ～ 105kPa
外 形 寸 法	幅 約 260mm × 奥行き 約 100mm × 高さ 約 200mm
本 体 重 量	1.5kg (AC アダプターを除く)
付 属 品	吸引器本体、専用 AC アダプター、吸引チューブ、カテーテルコネクター、ヒューズ (予備)、シリコンノズル 2 個 (大・小)、取扱説明書 (本書)、添付文書
製 造 販 売 元	OXiM 株式会社 〒 520-0852 滋賀県大津市田辺町 2 番 45 号

※上記性能は出荷時のものであり、ご使用の期間・頻度等により性能は低下してきます。性能を維持し、安全にお使い頂くために、日常点検、保守点検（ユーザー点検）および 1 年に 1 度は製造販売元または修理業者による年次点検、整備を行ってください。

困ったときに・保証など

保証規定と保証書

保証規定

1. 保証期間はご購入後 1 年間です。
2. 保証書の再発行は致しませんので大切に保管してください。
3. 取扱説明書、本体貼り付けラベル等の注意にしたがって正常な使用状態で故障した場合に無償修理または交換いたします。
4. 無償修理を受けられるときは、本保証書をご提示のうえ、ご購入頂いた販売店まで修理をご依頼ください。
5. 保証期間内でも次の場合は有償修理となります。
 - (イ) 誤った使用、不注意による故障または損傷の場合。
 - (ロ) 保管上の不備、ご使用者の責に帰すと認められる故障または損傷の場合。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷などの天変地異、電源の異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
 - (ニ) 弊社の許諾を受けることなく、修理や改造を行った場合。
 - (ホ) 本保証書の提示がない場合。
 - (ヘ) 本保証書に販売店、ご購入日などの記載の不備がある場合、あるいは内容を書き換えられた場合。
 - (ト) 消耗部品及び付属品のお取り替えの場合。
 - (チ) 付属品以外の部品を取り付けて使用した場合。

品質保証書

このたびは、OXiM 商品をお買い上げいただきありがとうございました。
商品は、厳重な品質検査を行っておりますが、万が一、通常のご使用において不具合が発生いたしました場合は、ご購入日より 1 年間、無償修理または交換を致します。
ご購入いただきました販売店へ本保証書をご提示の上修理をご依頼ください。

販売名 小型吸引器 メルシーポット S-501

ご芳名

ご住所

TEL ()

お買い上げ店名

(印)

ご住所

TEL ()

ご購入年月日

製造販売元

OXiM 株式会社 〒520-0852 滋賀県大津市田辺町 2 番 45 号

